小

［ＰＴＡ名］能古島小中学校ＰＴＡ
［広報紙名］「波の声」

小

［ＰＴＡ名］百道小学校ＰＴＡ
［広報紙名］「ももち」

小

［ＰＴＡ名］三宅小学校ＰＴＡ
［広報紙名］「みやけタイムズ」

小

［ＰＴＡ名］笹丘小学校ＰＴＡ
［広報紙名］「ささおか」

小

［ＰＴＡ名］那珂小学校ＰＴＡ
［広報紙名］「那珂」

小

［ＰＴＡ名］春住小学校ＰＴＡ
［広報紙名］「はるずみ」

PTA広報紙コンクール

中

［ＰＴＡ名］友泉中学校PTA
［広報紙名］「ゆうせん」

中

［ＰＴＡ名］高宮中学校PTA
［広報紙名］「高宮」

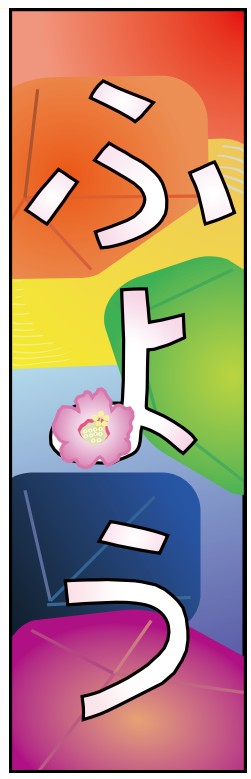
中

［ＰＴＡ名］筑紫丘中学校PTA
［広報紙名］「CHIKUCHU」

中

［ＰＴＡ名］博多中学校PTA
［広報紙名］「博多」

福岡市内の小・中学校PTAから多数の応募をいただき、日本PTA全国協議会の基準をもとに厳正なる審査を行った結果、上記の10校の広報紙を優秀作品として全国小・中学校PTA広報紙コンクールへ推薦させていただくことになりました。
また、今回残念ながら優秀作品に選ばれなかった作品も、広報紙を作成された方々の工夫と努力を感じることができました。



発行所
福岡市早良区百道3丁目10-1
福岡市教育センター2階
福岡市PTA協議会
発行人
会長 岡村耕二
広報委員会

福岡市PTA協議会
ホームページ
http://www.fukuokacity-pta.jp
福岡市PTA　検索

印刷 ㈱西日本新聞プロダクツ

目次

01 広報紙コンクール
02 会長挨拶 新役員紹介　どんなひと？
03 代表者会・常置委員会紹介
04~05 おとなも子どももよりスマートに！『IT』でなにが変わるの？
06 会長・担当副会長合同研修会 全市一斉ＰＴＡ研修講座
07 みんなで考えよう いじめ防止標語コンクール
08 定期総会 PTA活動活性化推進事業

会長あいさつ

令和４年度、福岡市ＰＴＡ協議会会長を拝命しました岡村耕二と申します。どうぞ、よろしく、お願いします。

新型コロナウイルス感染拡大防止への制限が徐々に緩和されてきました。もしかすると再度、大きな波が来るのかもしれませんが、その時でも行動制限は以前よりは厳しくないのではないかと予想します。このような状況で、令和３年度の後半では新型コロナウイルス感染拡大防止対策を慎重に行うことで、長い間制限されてきた人と人とが直接関わる活動を、徐々に増やしてきました。一方で、この２年間で社会は、オンラインによって活動を継続し、オンラインの環境も飛躍的に向上しましたので、今後も、必要に応じてオンラインで活動が行われることもあると思います。

本年度の市Ｐ協のスローガンは、「みんなで育とう!!子どもとともに～学びを止めない〝ＰＴＡの新しい活動様式〟の実践～」です。まずは、どのような環境でも、子どもの学びを支援できる大人になることを目指します。次に対面で行うのがよいか、オンラインで行うのがよいか十分検討した上で、よりよい環境でＰＴＡ活動を行うようにします。市Ｐ協では重点事業としてＰＴＡ活動活性化推進事業を行うとともに、昨年度立ち上げたＩＴ特別委員会を本年度も継続することによって、福岡市全体の単位ＰＴＡ活動でのＩＣＴ利用を経済的にも技術的にも支援したいと思っています。

本年度も、オール福岡で持続的なＰＴＡ活動を目指したいと思っています。皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申しあげます。

福岡市ＰＴＡ協議会　会長　**岡村　耕二**

令和4年度 主な事業計画

6月	全市一斉PTA研修講座
6月18日	会長・担当副会長　合同研修会
7月	「早寝・早起き・朝ごはん」啓発講演会
8月26・27日	日本PTA全国研究大会（山形）
8月以降	親子ふれあい事業
9月	親子ふれあいアンケート実施
9月21日	担当副会長合同研修会
10月14日	会長合同研修会
10月22日	第2回 学ビバ!!FUKUOKA 福岡県大会
11月21日	特別支援教育啓発研修会
12月1日	PTA啓発研修大会
12月17・18日	九州ブロックPTA研究大会（沖縄）
1月	「Knowメディア・チャレンジ」アンケート実施
2月9日	合同祝賀会
3月	いじめ防止標語コンテスト表彰式

令和４年度 新役員・理事紹介

役員

副会長
奥田　博子
（多々良中央中）

会長
岡村　耕二
（城南中）

副会長
坂本　由紀
（梅林中）

副会長
坂元　ゆかり
（高宮中）

副会長
古賀　正雄
（若久特別支援学校）

副会長
蒲池　貴子
（鳥飼小）

副会長
元永　顕雄
（春住小）

副会長
波多江　真一
（田隈中）

副会長
豊澤　絵里奈
（生の松原特別支援学校）

校長会

御﨑　正人
（若久特別支援学校）

吉瀬　竜二
（西陵中）

鶴田　千詠子
（高宮小）

常置委員会 委員長

広報委員長
坂本　孔明
（福浜小）

研修委員長
渡邉　輝彦
（春吉中）

教育問題委員長
築城　昌拓
（堤丘小）

福岡市ＰＴＡ協議会　小・中学生総合保障制度のお知らせ　安心してお子さまをご養育いただくために

「小・中学生総合保障制度（こども総合保険）」

お子さまの「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などを補償します。

この制度の詳しい内容はこちらからも確認いただけます。
AIG 損害保険株式会社『お子さまのための総合保障制度』https://riskfinder.jp/school/

（学校内のケガの場合、「独立行政法人　日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度」の給付とは関係なく補償されます。）

※保障制度の詳細につきましては、取扱代理店にお問い合わせください。
●制度に関するお問合せ先：取扱代理店　株式会社コーリン（福岡市ＰＴＡ協議会保障制度事務局）
ＴＥＬ：０１２０－２２８－５５３（通話料無料）（受付時間：平日午前９時～午後５時　土・日・祝日、年末年始を除く）
●制度引受保険会社：ＡＩＧ損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 三井住友海上火災保険株式会社　Chubb損害保険株式会社

［令和４年度版：S-220534（2023-04）］

中学校・特P連代表者会

吉田　聖子（西区　西陵中）
原　裕一朗（早良区　百道中）
高尾　哲朗（城南区　梅林中）
篠田　賢吾（南区　野間中）
白土　靖（中央区　警固中）
廣田　満（博多区　三筑中）
上杉　幸司（東区　青葉中）
立木　春香（特支　若久特別支援学校）

小学校代表者会

冬至　克亘（西区　福重小）
土岐　光弘（早良区　早良小）
縣　隆歳（城南区　鳥飼小）
白水　陽介（南区　三宅小）
梅田　昇（中央区　高宮小）
佐々木良信（博多区　三筑小）
宮路　享（東区　香椎浜小）

教育問題委員会

古賀 政浩 校長（那珂南小）

王丸 庸夫 校長（志賀中）

川上　孝弘（西区　姪北小）
小田部寛史（早良区　原西小）
築城　昌拓（城南区　堤丘小）
坂井　知樹（南区　玉川小）
森山　明洋（中央区　笹丘小）
岡部　正司（博多区　住吉小）
水間　道和（東区　松島小）
井上　和彦（西区　内浜中）
今釜　亮（早良区　原北中）
川口三代次（城南区　片江中）
冨田　圭一（南区　柏原中）
江川　未来（中央区　平尾中）
向江　康一（博多区　那珂中）
玉江　昭裕（東区　香椎第1中）
志岐　明洋（特支　南福岡特別支援学校）

担当副会長代表者会

石橋　美乃（西区　今宿小）
中橋麻衣子（早良区　飯原小）
小泊　悠（城南区　金山小）
堀　真奈子（南区　花畑小）
大東　絵美（中央区　福浜小）
木山　恵実（博多区　三筑小）
宮崎　仁恵（東区　松島小）
藤原　尚子（西区　下山門中）
田中　昌美（早良区　原中央中）
牧野　尚子（城南区　片江中）
田中美也子（南区　花畑中）
増田亜希子（中央区　当仁中）
田代　桂子（博多区　千代中）
田中うるみ（東区　香椎第3中）
中村美佳子（特支　福岡中央特別支援学校）

広報委員会

森　春樹 校長（塩原小）

瀧田 文隆 校長（吉塚中）

宗　扶美（西区　北崎小）
箱島　大樹（早良区　入部小）
富永康一郎（城南区　七隈小）
平野　英恵（南区　日佐小）
坂本　孔明（中央区　福浜小）
権藤　亜美（博多区　板付小）
福永　吉宏（東区　美和台小）
松田　弘子（西区　元岡中）
安永亜希子（早良区　田隈中）
小野　敏生（城南区　長尾中）
金子　雅史（南区　長丘中）
北野　友子（中央区　舞鶴中）
藤田　園子（博多区　三筑中）
八木　徹（東区　城香中）
田津　昌昭（特支　屋形原特別支援学校）

研修委員会

清水 浩一 校長（有住小）

児玉　聡 校長（片江中）

大塚　里奈（西区　姪浜小）
口石　龍弥（早良区　飯倉小）
黒江　大介（城南区　城南小）
古屋　新悟（南区　西高宮小）
勝野　晃（中央区　草香江小）
吉田　政弘（博多区　弥生小）
井上将志郎（東区　香椎小）
熊谷　朋威（西区　姪浜中）
塚田　光子（早良区　西福岡中）
岡村　則子（城南区　友泉中）
田中　健（南区　日佐中）
渡邊　輝彦（中央区　春吉中）
大野　雅士（博多区　博多中）
赤間　俊彦（東区　多々良中）
難波　瑞穂（特支　若久特別支援学校）

ＩＴ特別委員会

●ＰＴＡのＩＴ化促進に向けて

令和３年度に創設されたＩＴ特別委員会では、「はじめの一歩を軽くする」をビジョンに掲げ、今後のＰＴＡ活動において、ＩＴを活用していく「はじめの一歩」を軽くしていくためのサポート活動を行ってまいりました。

昨年度、福岡市の市立学校では、全ての子どもたちにタブレットが配布されました。子どもたちの間では、オンライン授業やタブレット学習など、教育現場において急速にＩＴ化が進んでいます。

一方、ＰＴＡでは、未だにアナログでの活動が主流で、現役員の負担軽減には至っていないところも多いのではないでしょうか？

インターネット環境の有無や、ＩＴ化に対する抵抗感、不安感が拭いきれていないことも一因であると考えています。

一概に「ＩＴ化」というと難しく考えがちですが、実はやってみるとそれほど難しいものでは無いと言うのが私の印象です。というのも、ＰＴＡのＩＴ化に着目すると、「導入の方法が分からない」「何を導入すれば良いかが分からない」のだけなのではないかと感じています。

そこで本委員会では、各単ＰのＩＴ導入をサポートするものとして、福岡市ＰＴＡ協議会のホームページ内の「ＰＴＡチャンネル」に、ＩＴ導入に伴うマニュアルの作成や、ＩＴに関わる様々な情報発信を定期的に行っていきます。また、福岡市ＰＴＡ協議会発行の広報紙「ふよう」においても、ＩＴに関する情報や単ＰでのＩＴの導入事例などの記事を掲載する予定としています。

本委員会の「発信力」と、各単Ｐの「受信力」を掛け合わせて、ＰＴＡ活動の幅の拡大や、負担軽減に繋がっていくことを願っております。

誤解していただきたくないのは、ＩＴを必ず導入しなければいけないというわけではないという点です。それぞれの状況に応じて、アナログとデジタルのバランスを取ることにより、各単Ｐの活動をより効率的にしていただければ幸いです。

令和４年度もＩＴ特別委員会は引き続き活動を行ってまいります。ＰＴＡのＩＴ化促進に向けて、皆様方からのご意見・ご要望が本委員会の活動のクオリティをより良くするものとなりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和三年度
ＩＴ特別委員会
委員長　元永顕雄

グーグルフォームを活用　福岡市西区　壱岐南小学校

アンケート項目にそったGoogleフォームの作成

壱岐南小学校では、２年前のインターネット導入を機に、Googleフォームを活用しています。それまでは、各種アンケートや委員決め等は、プリントでの配布回収だったため、集計作業に多大な労力がかかっていましたが、Googleフォームを活用することで、プリント準備や、手集計作業が無くなり、業務の効率が大幅にアップしました！

フォームのリンクをQRコードにして、プリントに添付したのちに会員へ配布。

※QRコードはネット上にある無料QRコード作成サイトを活用

Googleフォーム内で、回答状況の確認。回答集計は、ボタン一つでＯＫ！

会員はプリントに添付されたQRコードを携帯電話で読み込み、アンケート等を回答入力。

Googleフォームで実際に行っている業務については、委員決めの立候補、承認、ボランティア募集、アンケートなど、情報を収集するのにとても便利なシステムです。また、インターネット環境下であればどこでも作成ができるので、わざわざ学校へ行かず、自宅でも作業ができる様になりました！今後は、誰でもわかるマニュアルを作成することで、役員が代わっても継続的に活用できるようにしていく事が必要だと思います。

安心メールを活用　福岡市南区　西高宮小学校

安心メールに関しては学校側から使用許可を得て、PTAのアカウントで使用しています。

安心メールの使用目的としては、それまでは役員や委員間での連絡等のみだったのですが、２０２０年からはアンケート機能を利用することにより、全会員向けのメール配信をするようになりました。

プリントで配布していた役員選出や委員選出などは、アンケート機能付きメールを配信し、パソコンで集計をしたのち、決定通知もメールでお知らせしています。

コロナ禍で集まれなかったＰＴＡ総会も電子決議により執り行うことができました。

作業効率が大幅にアップ

安心メールを使うことで、大幅なペーパーレス化と作業の効率化を図ることができました。

今後の課題として、アンケートの集計や決定通知には、データの書き出しや読み込みをするなど、多少のパソコンのスキルが必要となるので誰でもできるような作業の簡素化とマニュアル作成の必要性を感じています。

HP・公式LINEを活用　福岡市東区　多々良中央中学校

↑多々良中央中学校ＨＰ　ＴＯＰ画面

ホームページを始めたのは、コロナ禍で活動が休止状態となり「このままだとＰＴＡの存在が忘れ去られる！何とか、ＰＴＡの現状を、会員の皆さんに伝えなければならない！」と思ったことが発端です。

当初は予算のこともあり、役員ＯＢさんにご協力いただき、制作準備に入りましたが、進めるうちに、個人情報保護の確実性、内容構成の充実の面から、専門業者に依頼することにしました。また、広報誌や、ＰＴＡからの情報発信をホームページ上に掲載することで、ペーパーレス化が図れ、作業負担がかなり軽減されました。

今後は、多くの方に見てもらえるよう、記事の内容を工夫し、バラエティ豊かなホームページ作成をしていきたいと思います。

WEB会議を活用　福岡市城南区　鳥飼小学校

鳥飼小学校では運営委員会や役員会などでオンライン会議を活用しています。緊急事態宣言が発出されたことがきっかけで、書面開催も検討しましたが、周年事業という特殊な議題もあったことから、オンライン会議を行うことにしました。

オンライン会議システムを使ったことがないメンバーにとっては、当初戸惑いがありましたが、事前テストなどで操作方法を個別に確認することで、スムーズに実施することができました。

新型コロナ対策はもちろん、仕事や家事・育児などの都合で会議時間に来校できないなどといった事情にも対応することができ、活動の柔軟性を高められることが大きなメリットです。

オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド役員会の開催も実施でき、更なる柔軟性向上の可能性を確認できました。今後は活用の幅を広げるために、マニュアル作成や備品購入など、ハード面・ソフト面で整備していきます。

Googleフォームを使うと集計作業がめっちゃ楽になる！

難しいと思わずに、まずはＴＲＹしてみよう！

福岡市では、子ども達に一人一台クロームブックが配布され、時代と共にＩＴ化の流れに対応できる教育が進んできています。ＰＴＡ活動においても、ＩＴを導入し、業務の簡素化による役員業務の軽減や、新たな会員との関わり方を構築されている単位ＰＴＡも増えてきました。しかしながら、まだまだＩＴは難しいと難色を示されている役員の方も多いのではないでしょうか？

そこで、今回は「グーグルフォームを活用し、役員業務を簡素化しよう」と言う事で、グーグルフォームを使うことで、何ができるのか？　どんな業務を簡素化できるのか？の一例をご紹介したいと思います。

そもそも、グーグルフォームとは、何なのか？　というところから簡単にお話しますと、アメリカのＧｏｏｇｌｅ社が提供する無料のアンケート作成、管理のソフトウェアです。子ども達のクロームブックも、このＧｏｏｇｌｅのＯＳを使っていますので、名前はご存じだと思います。

ＰＴＡ役員業務の中で、手間がかかる会員へのアンケート業務やその集計、結果報告などを、紙ではなくオンライン上でやり取りし、簡素化・ペーパーレス化していくことで、大幅に時間を削減し、業務を効率化してくれる便利なソフトなのです。

パソコンの操作が苦手と言われる方でも、簡単にトライできる、「Ｇｏｏｇｌｅフォーム作成マニュアル」をつくりました。参考にしていただき、単位ＰＴＡの活動にお役だていただければと思います。

詳しくは、福岡市ＰＴＡ協議会ホームページ内の「ＰＴＡチャンネル」に掲載しています。スマートフォンでの閲覧は、左記のＱＲコードを読み取っていただければ、ページにアクセスできます。

ご興味がある方は、ＱＲコードを
読み込んでチェックしてみてね！

令和３年度 福岡市PTA協議会「会長・担当副会長合同研修会」

令和３年度の「会長・担当副会長合同研修会」は、まず岡村会長より「ＰＴＡに関する保護者への説明について」のお願いをお話しされました。保護者への説明および活動については、各単位ＰＴＡでは苦慮されている学校があると思います。丁寧な説明と周知を行うなどのポイントを説明されました。

そして、『リーダーに求められるコミュニケーション力とは』と題し、株式会社フェニックス代表取締役、フェニックスアカデミー主宰、帝国データバンク契約コンサルタントである安東優介氏と福岡大学人文学教育・臨床心理学科教授、入江誠剛先生に対談形式でご講演いただきました。

安東氏の考えるリーダーとはどんな人？の入江先生からの問いに安東氏は、時代時代でリーダーの形は変わっていくが、縦社会ではなく横社会を意識する、今求められるリーダー像は、君臨型ではなく横社会を意識した言葉を大切にするリーダーだと思っているとお話しされました。

◇日頃の周波数を合わせることの重要性◇

リーダーは、時折しっかりとし姿勢を正して、指導をしなければならないなどの場面があるが、横社会を常々意識しておかないと、いざというときに相手の心の扉が開いていない。日頃から横社会を意識したコミュニケーション、言葉を大事にしている人に、相手は心の扉を開いてくれるとの考えを述べられました。

◇解釈力◇

支配型リーダーとサーバント型リーダーなどリーダーの形が紹介されましたが、安東氏ご自身の壮絶な経験の中から「解釈力」でたくさんの苦しくつらい現状を打開できること、子どもたち若い世代に対して自身の様々な経験を伝えることを使命感としていることなどを伝えられました。子どもに対しては、応援していることを、応援している姿勢をいつも伝えること。自分(親) の思い通りにならないと声を荒げるのは怒る、怒りである。応援している姿勢でいれば、叱りとなり、自分(親)の心の叫び(気持ち)はきっと伝わりますとお話しになりました。

◇心の扉を開ける黄金のカギ◇

相手(子ども)の心の扉を開ける黄金のカギは、しっかり反応してあげることとのことで、存在を認め思いっきりエネルギーを込めて反応してほしい。そして、年頃の子へ接する第一歩は挨拶をしてほしいとのことでした。挨拶を交わすことで「あなたを認めているよ」と伝わり、まずはそれをきっかけにしてみてはとのアドバイスがなされました。

結果を褒めることより、そこに至ったプロセスと価値観を褒めて認める。これが周波数を合わせるコツだと教えていただきました。

今回の研修会では、安藤氏、入江先生の様々な角度からのコミュニケーションの取り方とリーダー像のお話をいただきました。黄金のカギは子どもだけでなく大人同士、親同士でも必要になるカギだと再確認できました。コミュニケーションの重要性、相手の立場、気持ちへ寄り添えるように、おもんぱかることなど、コロナ禍でコミュニケーションが取りづらくボタンの掛け違えが起こりやすい現状ではありますが、まずは身近なところから周波数を合わせていきたいと思います。そして、解釈力で前向きにこの貴重な子育ての期間を楽しみながら親子で成長できたら良いなと改めて思いました。日々の生活の中で、なんとなく流れてしまっていることを今回の研修を通して、一度立ち止まり見直すきっかけになり、大変有意義な時間となりました。

入江　誠剛 氏
福岡大学人文学部
教育・臨床心理学科
教授

安東　優介 氏
株式会社フェニックス
代表取締役
フェニックスアカデミー
主宰

《視聴期間》
令和4年2月14日～5月31日
YouTube 配信
《視　聴　数》209回
《総再生時間》24.6時間
《共催》
福岡市PTA協議会
福岡市教育委員会

全市一斉ＰＴＡ研修講座 レポート

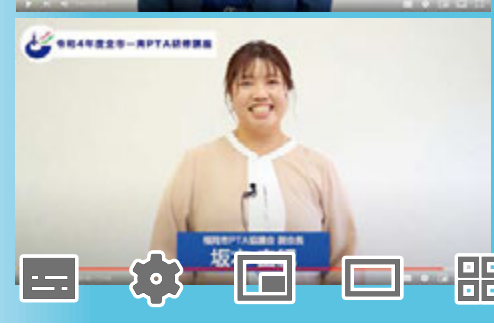
昨年に続き本年も福岡市ＰＴＡ協議会と福岡市教育委員会の共催による全市一斉ＰＴＡ研修講座を令和４年６月２日に収録し、７月18日までオンデマンド配信しています。

全市一斉ＰＴＡ研修講座の中では、はじめに、福岡市ＰＴＡ協議会岡村耕二会長から、「コロナウイルス感染防止対策が継続中の現在においても、ＳＮＳの普及や少子化により子どもたちをとりまく環境が大きく変化していく中で私たちＰＴＡが一体となり、学校や地域と互いに理解を深めて連携しながら社会全体で子どもたちを共に育む事が重要である。」との提言がありました。

第１部では、福岡市ＰＴＡ協議会蒲池貴子副会長から、福岡市ＰＴＡ協議会の令和４年度の活動目標や教育予算要望、研修会、事業、広報事業などについての活動説明がありました。また、学校単位での各委員会のあり方についても、「各家庭の生活スタイルも多様化しており、またコロナ禍で行動に制限を余儀なくされている中で、どんな方でもできるところでできることを行う活動の仕方を再考していくことが重要」という今後の単位ＰＴＡでの運営への更なる創意工夫の呼びかけがありました。

第２部では、福岡市教育委員会田澤秀樹人権教育指導員から、「人権感覚を高めるＰＴＡ活動」というテーマで、人権感覚の定義や福岡市の人権問題の現状、学校における人権教育、保護者のかかわり方、学校・家庭・地域での共有を柱としてのＰＴＡ活動について講演いただきました。

新たにＰＴＡ活動をされる方にとっては、組織の構成や活動の趣旨・内容が把握できる機会となり、組織としての今後の検討課題を共有できた有意義な時間だったのではないでしょうか。



令和３年度　第15回「いじめ防止標語コンテスト」入賞作品一覧

いじめ防止標語コンテストは、いじめ防止に向け児童や生徒一人一人がいじめについて考える機会を創出し、自己啓発に取り組むことを目的として実施されています。今回は全国の小・中・特別支援学校2,302校から45万通を超える作品をいただき、その中から入賞作品の選考が行われました。福岡市内からは14,069作品をいただきました。受賞作品は以下の通りです。受賞された皆さま、おめでとうございます。

なお、令和３年度も前年度同様、新型コロナウイルス感染リスクのため表彰式は中止とさせていただきました。

小学生の部

全国賞	おうちでよるにいじわるをおもいだす わたしのからだのくうきがぬけちゃう	大楠小学校　1年
優秀賞	タブレット　いじめが家までついてくる	多々良小学校　6年
優秀賞	すぐ忘れる　やってる側は「覚えてない」	花畑小学校　6年
PTA推薦賞	だめだよ　だれがコロナか　さがすこと	大楠小学校　3年
PTA推薦賞	さしのべたその手はみんなの命綱	舞鶴小学校　4年
いじめゼロプロジェクト賞	その言葉　鏡に写り　はねかえる	那珂小学校　6年
特別賞	まわり見て　みんな君に　おびえてる	席田小学校　6年
特別賞	気づいてる？　ほんとの笑い　ではないよ	赤坂小学校　6年
特別賞	見ないふり　すれば君も　同じだよ	那珂小学校　5年
特別賞	みんなでつくろう温かい空気　みんなでなくそうつめたい空気	那珂小学校　5年
特別賞	だれも見てなくても　自分が見ている	姪北小学校　4年
佳作	かえていこう　ワタシのココロとキミのココロ	舞鶴小学校　6年
佳作	ふつうのナイフは　ぬけるけど　言葉のナイフは　絶対ぬけない	舞鶴小学校　6年
佳作	いじめたい？聞いてあげるよ　君の心	舞鶴小学校　6年
佳作	君が助けを待っている　だから　私は助けに行く	草ヶ江小学校　5年
佳作	パワハラ、モラハラ、ハラスメントもいじめの一つ　大人は手本になれてるの？	多々良小学校　6年
佳作	「やめようよ」というきみの顔も笑ってる	老司小学校　5年
佳作	好きな色　みんなそれぞれちがうから 女の子みたい　男の子みたい　と　きめつけないで	西花畑小学校　5年
佳作	男の子も女の子も色やふくそうはかんけいない	三苫小学校　2年
佳作	いじめたあなたの心はみじめじゃないの？	愛宕浜小学校　3年

中学生の部

全国賞	「次されたら教えてね」　先生、それじゃ　もうおそい	玄洋中学校　1年
優秀賞	「もうしません」　先生じゃなくて　私に言って	城南中学校　2年
優秀賞	私は悪魔（あくま）で見てるだけ	和白中学校　2年
PTA推薦賞	目を逸らす　いじめのオセロ　僕も黒	箱崎清松中学校　3年
PTA推薦賞	助けを呼ぶ声　ノイズキャンセルしていませんか？	和白中学校　2年
いじめゼロプロジェクト賞	なんしとーと？　あなたの声が　やさしい居場所に	城南中学校　2年
特別賞	正しいの？「みんなやるから　僕もやる」	高取中学校　3年
特別賞	見直しはテストの時だけ？　いいや、送信ボタン　押す前も	高取中学校　3年
特別賞	きこえるよ　ちいさなこえの　かげぐちも	原中学校　2年
特別賞	今日もまた　あなたの言葉で　眠れない　きっとあなたは　気にしてないのに	長丘中学校　2年
特別賞	大丈夫？　あの子の『笑顔』と私の『笑顔』　一緒の意味とはかぎらない	片江中学校　2年
佳作	ついついツイート　言葉のウイルス　緊急事態	高取中学校　3年
佳作	考えて　履き違えてない？　善と悪	和白中学校　1年
佳作	「言うこと聞くだけ」それって本当の友達？	和白中学校　3年
佳作	夢を見る　楽しい日々を　現実は？	和白中学校　3年
佳作	心の緊急事態宣言発令中	原中学校　1年
佳作	勢いで　放った言葉　止まらない　相手の心に　グサッと刺さる	片江中学校　1年
佳作	中学生　何も知らない　僕たちの「正しい知識」　ホントに正しい？	片江中学校　2年
佳作	いじめの感染拡大 水際対策するのは　私たち一人一人だ	片江中学校　2年
佳作	嘘だって　気づけなかった　その笑顔　取りもどせない　本当の笑顔	箱崎清松中学校　1年

コラム

福岡市立西陵中学校
校長　吉瀬　竜二

ようやくコロナ対策への緩和（6月1日福岡県コロナ警報解除など）で社会は、だんだん回復の動きを見せています。しかし、中学生を含む若者のいままで実施できなかった彼らの心を揺さぶるような感動する行事等は、経済のように簡単に補てんすることができません。

さて、その中学生は、2030年に部活動の部員数は現在の50％程度になると文科省は発表しています。人口減少から中学校では部活動が成立できない人数になると思います。

最近の報道では、3年後に部活動は全て民間に委託するという見識をスポーツ庁の有識者会議で議論されているという報道まででています（6月1日時点）。この議論に、中学生や教員の意見はどれだけ取り入れられているでしょうか。すると、6月5日のある新聞には（この記者さんは、きちんと話せばご理解いただける人であると知っておりますので、あえて、申し上げます）まるで部活の顧問をしないと管理職になれないような教諭の話やほとんどの学校とは関係ない強豪中の話で部活動を学校から引き剥がそうという意見のように感じとれます。教員になる1つの動機に部活動という選択肢もあることを残しておいてもらいたい。適正な報酬を与え、本業への好影響になる部活指導ができるような選択肢も残してもらいたいです。そのためには、人件費を多く割いている文科省の予算だけでなく、他の省庁も本家文科省のキャリア官僚で部活動を経験した人なんていないと思いますが、確実に少なくなる子どもたちを守ることができるよう、予算の確保に努めていただければ幸いです。部活動指導を希望する先生には指導者として持続可能な部活動をひとつのワークライフバランスとして位置づけることができるのではないでしょうか。自分の地域で子どもを指導することも可能になります。教員の中から発掘した人材にも、正当な副業として認め、正当な報酬によって子どもたちが十分な指導を受けられることを期待します。

人口割合では少数になる子どもたち、選挙権はないけれども、未来を支える貴重な宝物です。それを間近で接している我々教員の意見がこの部活動の生徒の段階的な人口減少に応じた地域移行型についても正当に社会に伝わることを期待します。

最後に、米国大使館の資料によると「少数派は、政府が自分たちの権利と独自性を擁護してくれることを確信する必要がある。それが達成された時、その少数派集団は、自国の民主主義制度に参加し、貢献することができる」すばらしい未来を子どもたちに！

福岡市PTA協議会定期総会

スローガン『みんなで育とう!!子どもとともに』
～学びを止めない“PTAの新しい活動様式”の実践～

5月26日、第51回福岡市PTA協議会定期総会が開催されました。今回はももち文化センター大ホールとオンラインのハイブリット形式での開催となり、例年よりも少なかったものの、会場に足を運ばれていた方もいらっしゃいました。

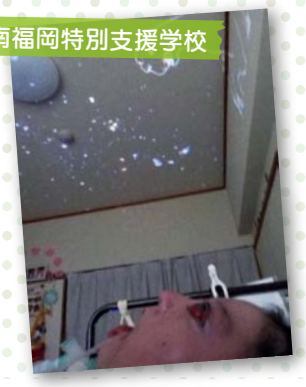
ここ数年はオンライン開催であったため中止になっていた開会行事も3年ぶりに行われました。公務ご多用の中、福岡市長代理の野中晶こども未来局局長、伊藤嘉人福岡市議会議長、石橋正信福岡市教育長ほか、多数のご来賓の皆様にご臨席いただきました。はじめに、福岡市PTA協議会岡村耕二会長より「PTA活動は、子どもたちのために何かすることも大切だけれども、子どもたちに、私たち大人のがんばっている背中を見せることが大事です。」と挨拶がありました。表彰式では、福岡市のPTA活動にご尽力いただいた団体・個人に対し、各種表彰状ならびに感謝状の贈呈が行われました。

総会では、令和3年度事業・活動報告、決算・会計監査報告のあと、令和4年度の事業・活動計画案および予算案が承認されました。続いて令和4年度役員・会計監査案が承認され、令和4年度新体制がスタートいたしました。

令和3年度 PTA活動活性化推進事業

特別支援学校PTA連合会

今津特別支援学校


南福岡特別支援学校

PTA活動活性化推進事業は、各学校のPTA活動をさらに活性化するという目的に合致する事業に対して、福岡市PTA協議会が「PTA活動活性化推進事業」として助成するものです。

令和３年度はコロナ禍で活動の停滞を余儀なくされた各PTAが、アフターコロナに向けて、誰もが参加しやすい環境づくりと活動への理解を深め、活動を活性化させて元気なPTA活動を取り戻すことを目的に行われました。

多数の事業提案の中から、37校が選ばれ、様々な事業が実施されました。

特別支援学校のPTAではコロナ禍で校外活動が難しいこともあり、校内で修学旅行気分を味わえるような活動や、プラネタリウムを実施するなど、子どもたちの学びの機会を失わないための事業が行われました。

また、小学校や中学校のPTAでは、密にならないよう講演を学年ごとに分けて実施したり、屋外で密にならないようにするなど、各校工夫を凝らして事業を実施していました。

令和４年度もPTA活動活性化推進事業が実施されます。応募の締め切りは７月29日です。新たな活動に取り組むチャンスです。この機会に是非応募してみてはいかがでしょうか。

柏原小学校

城香中学校

三宅中学校

東光中学校

編集後記

今回の広報紙「ふよう」はいかがだったでしょうか。第一面には広報紙コンテストで受賞された単位PTAの紙面を紹介させていただきました。それぞれの個性があふれる素敵な広報紙ばかりでした。

４面５面にはIT特別委員会の特集を掲載いたしました。本紙ではこの特別委員会を通じて、広報紙のその先にある可能性を皆さんにお届けできればと考えていました。ITの活用は、あくまで効率化やコミュニケーションの手段であって、目的ではありませんが、本紙のような紙媒体からITをつなぎ、様々な人同士が情報を共有し、効率化によって出来た「余裕」で実際のコミュニケーションの幅を広げる一助となれば幸いです。

今号で令和３年度の広報委員会が終了します。読者の皆様、関わっていただいたすべての方々に心から感謝いたします。

（辻　宗志）

136号モニターアンケート　生かそう！　読者の声

- フォトコンテストの記事では、写真のエピソードも記載されており、イメージがより深まり、よかったです。
- コロナ禍でも可能な活動、このような状況下であることからこその工夫、内容の濃い様々な講演会・研修会で、学ぶべきことが多い時期であったことを改めて実感することができました。とてもわかりやすかったです。
- 人とのつながりが希薄になりつつある昨今ですが、人生には助け合いが必要な場面が多くありますので、人と人とのふれあいやあたたかいエピソードなど紹介できるとよいなと思いました。
- 「誰一人取り残さない」とても心に残ります。

令和4年度 教育予算要望回答についての意見交換会

令和4年5月19日　オンライン（zoom）

昨年７月に福岡市ＰＴＡ協議会が教育委員会に提出した令和４年度の教育予算要望に対して回答書を受理し、それに伴い市Ｐ協役員と教育委員会関係者との意見交換会を行いました。